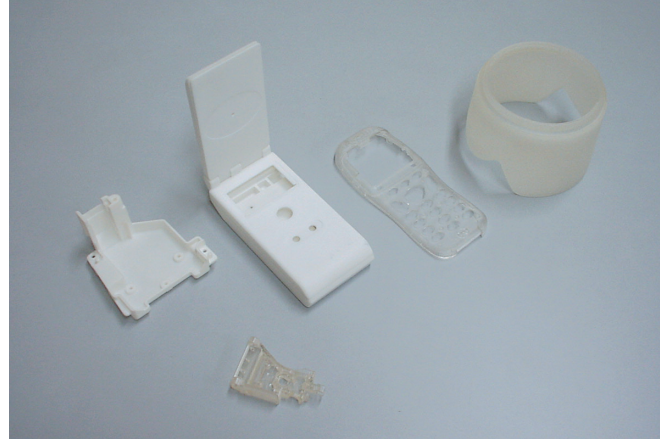
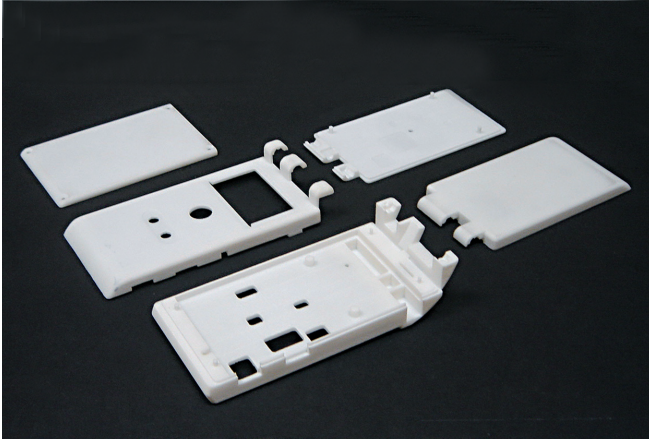


7. 積層造形

積層造形とは微細粉末を素材（ナイロン）とし、それを炭素ガスレーザーで焼結する工法です。



《光造形と比較した場合の有利点》

- ・ 光造形やシート積層工法では実現が困難な汎用樹脂で造形可能です。
- ・ 2次加工が可能です。ドリル加工、エンドミル加工、接着加工、塗装等、汎用樹脂と同等の扱いが出来ます。
- ・ 注型品のマスターとしても、表面処理を施してシリコンゴムが浸透しないようにすることにより、脱型時に壊れる事も無く、複数回の型取にも耐えるマスターとなります。

《用途》

衝撃、曲げ、耐熱、等の物性が優れていることから、切削加工品の代替として、組付け試験、落下試験などの用途に使われています。

- ・ スナップフィット組付けがしたい。
- ・ ヒンジ形状がある。
- ・ 高速回転実験（ファンなど）がしたい。
- ・ 耐熱を要求する。（MAX120 度）
- ・ 落としても壊れない物が欲しい。